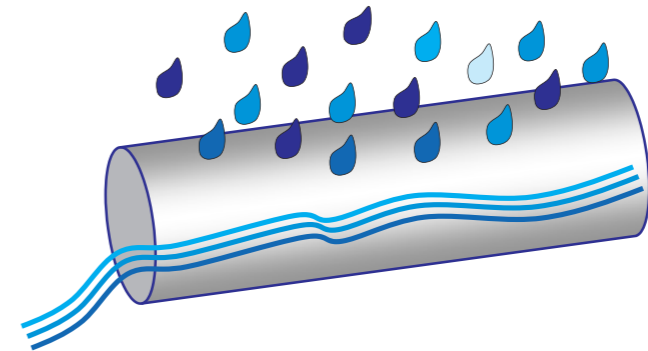


〔新〕 雨水整備クイックプラン

～浸水被害を早期に軽減するために～



 東京都下水道局

まえがき

東京都区部では、都市化に伴う雨水流出量の増大によって、下水道が整備された地区でも浸水被害が発生するようになってきています。このため、1時間50mmの降雨に対応できるようにするため、これまで幹線やポンプ所などの基幹施設の整備を行う雨水対策事業を計画的に進めてきました。

しかし、この雨水対策事業は、施設が完成すれば確実な効果が得られるものの、施設規模が大きい幹線やポンプ所などでは、事業効果が発揮されるまでには長い年月と多大な費用を必要とします。

一方、近年では、1時間50mmを超える雨が局所的かつ短時間に降ることもあります。こうした強い雨がたびたび降ることで、地区によっては繰り返し浸水被害が発生するようになってきています。

さらに、従来からある地下街や地下鉄だけでなく、個人住宅においても地下室や半地下駐車場が増えるなど、浸水に対する危険度が増大しています。

このような降雨状況や浸水被害発生状況などを踏まえ、従来の雨水対策事業を着実に進めることに加え、「できるところから、できるだけ対策を行い、浸水被害を軽減させる」という整備方針で貯留管の整備など緊急的な対応を図る「雨水整備クイックプラン」を策定し、実施してきました。

今回、雨水整備クイックプランの計画期間（10カ年）のうち前期5カ年が終了したことを契機に、これまでの事業を評価し、また、この間に得られた知見なども取り入れ、「新・雨水整備クイックプラン」として改定、充実することとしました。新クイックプランは、これまでの整備方針や当初計画の後期5カ年の事業を引き継ぐとともに、新たに浸水被害を受けている地区を追加しました。

また、追加した地区については、「浸水範囲がどのくらい減少するか」などの事業効果を流出解析シミュレーションによって事前評価し、対策前後の効果をイメージ図で比較、表示するなど、お客さまに分かりやすい計画となるよう工夫しました。

今後とも、東京の都市機能を確保し、都民の生命・財産に対する安全性を向上させるため、これまでの基幹施設整備とともに、新・雨水整備クイックプランを着実に進め、浸水被害の早期軽減に取り組んでいきます。

目次

第1章 新クイックプランの概要

| | |
|-----------|---|
| 1 基本方針 | 2 |
| 2 改定のポイント | 4 |
| 3 地区別計画 | 5 |
| 4 計画期間 | 7 |
| 5 計画事業費 | 7 |

第2章 現状と課題

| | |
|-------------------------|----|
| 1 クイックプラン策定に至る経緯 | 10 |
| 2 これまでの雨水整備クイックプランの進捗状況 | 14 |
| 3 これまでの雨水整備クイックプランの事業効果 | 16 |
| 4 これまでの雨水整備クイックプランの評価 | 19 |

第3章 事業内容

| | |
|--------------------------|----|
| 1 ハード対策（施設整備による対策） | 22 |
| 2 ソフト対策（リスクコミュニケーションの充実） | 36 |

第4章 事業の効果的な推進に向けて

| | |
|-----------------|----|
| 1 お客さまとの連携 | 47 |
| 2 関係機関との連携 | 48 |
| 3 新技術の導入・活用 | 48 |
| 4 「浸水対策強化月間」の推進 | 49 |

巻末資料

※ 本文中、「雨水整備クイックプラン」、「前クイックプラン」及び「これまでのクイックプラン」は、平成11年度に策定したクイックプランを指す。

「新クイックプラン」及び「新・雨水整備クイックプラン」は、今回策定したクイックプランを指す。